

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（速報）

広島市立広島市民病院において、令和2年12月12日（土）に職員1名が新型コロナウイルス陽性であることが確認されました。また、13日（日）から15日（火）までの間に同職員と接触がない入院患者2名及び職員2名が陽性であることが確認されました。

このため、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、当該病棟の入院患者及び関係職員に対してPCR検査を実施し、感染範囲の確認を行うとともに、引き続き必要な対応を行っているところです。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いします。

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染拡大のリスクがある病棟等については、徹底的な消毒を実施します。
- ・ 感染が疑われる患者及び職員に対してPCR検査を実施します。
- ・ 濃厚接触が疑われる職員については、PCR検査が陰性であっても自宅待機・健康観察とします。

2 病院機能について

- ・ 救急病棟をコロナ感染病棟として確保し、感染が発生した病棟から感染患者を転棟させます。
- ・ また、感染が発生した病棟には、当面の間新規入院患者の受入れを中止するとともに、退院日の延長など必要な措置を行います
- ・ 16日の救急搬送の受入れは、周産期を除き中止します。
- ・ 16日の手術は中止します。手術にかかわるスタッフのPCR検査を実施し、その結果により対応を検討します。

3 その他

- ・ 感染が発生した病棟の入院患者への面会を禁止します。

引き続き、保健センターとの連携を図り、感染拡大防止に向けて適切な対応に努めてまいります。

患者さんならびに職員の安全を最優先し、全職員が一丸となって全力で対応を進めてまいります。何卒ご理解の程、よろしくお願いします

令和2年12月16日
広島市立広島市民病院
病院長 荒木 康之